



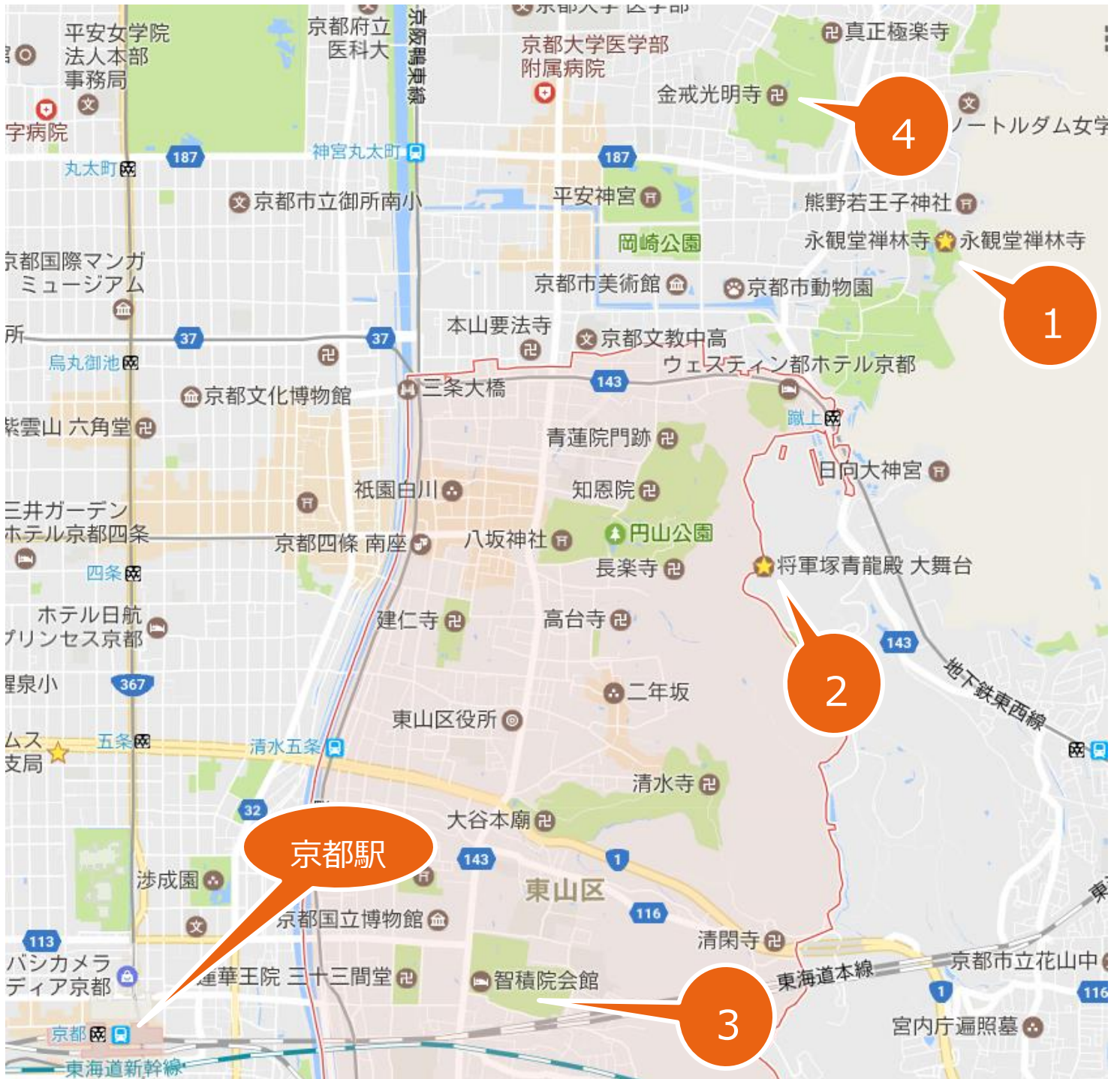
# 京都東山の名刹 特別拝観ツアーレポート

## 日ごろの感謝を込めて

（公財）全日本仏教会（以下：本会）では、日ごろからご支援を頂戴している皆様へ、仏教を更に親しんでもらおうと、本会ならではのツアーを企画しています。

4回目となる今回のツアーは、京都東山を中心とした寺院を参拝し、特別拝観や普段はお目にかかれない狛下の法話と記念写真・朝の勤行や精進料理など、盛り沢山の内容で開催いたしました。

本レポートでは、当日の内容をご紹介します。



【ツアー概要】

- ・ 視察日時：2017/5/8～9（1泊2日）
- ・ 訪問先：
  1. 永観堂禅林寺（浄土宗西山禅林寺派総本山）
  2. 青蓮院門跡青龍殿（天台宗別格本山）
  3. 智積院（真言宗智山派総本山）
  4. 金戒光明寺（浄土宗大本山）
- ・ 参加者：29名（内事務局4名）
- ・ 団長：久喜和裕（第32期事務総長）

## 5月8日 京都駅集合場所



13時、ツアー開始です！

28.1℃を記録した京都でしたが、日差しがそれほど強くない、ツアーとしてはまずまずのお天気。

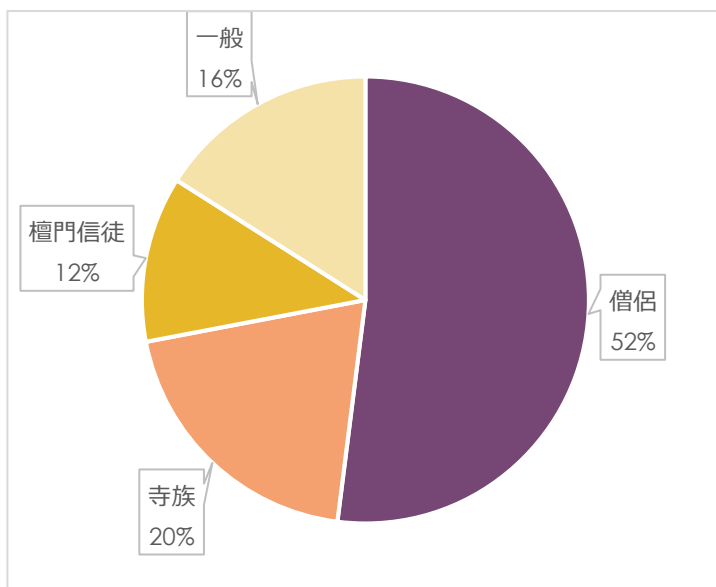
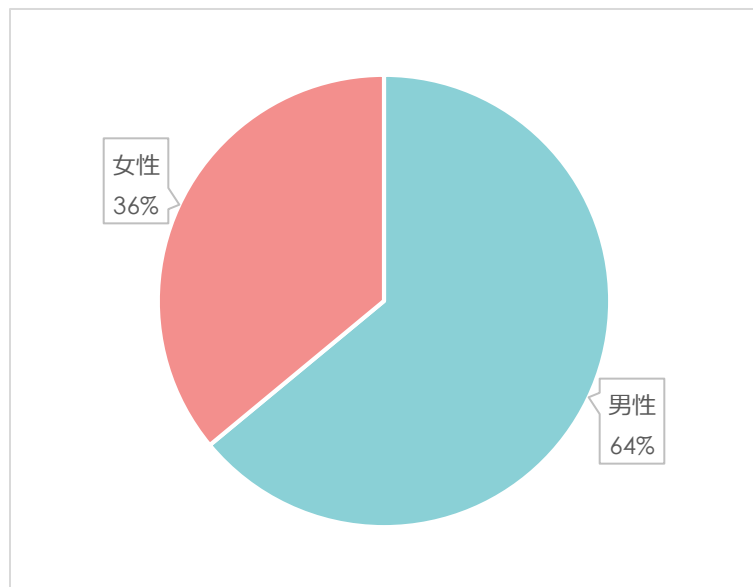
参加者には、集合場所である京都駅南口観光バス乗降口にお集まりいただきました。

これから最初の訪問地である、永観堂禅林寺に向かいます。

今回の参加者は、賛助会員の他に、曹洞宗、日蓮宗、高野山真言宗、真言宗智山派、真宗興正派の僧侶・寺族・檀信門徒、そして一般の方にもご参加いただきました。

北は宮城県、南は香川県と各地からお越しくくださった参加者のプロフィールはこのようになっています。

左：男女比 右：参加者属性



僧侶や寺族など、全日本仏教会にご協力いただいている方が中心でしたが、一般の方にもご参加いただきました。平均年齢は63.2歳でした。

# 永観堂禅林寺

---



新緑がまぶしい永観堂禅林寺

正式名称は聖聚来迎山無量寿院禅林寺。浄土宗西山禅林寺派の総本山です。

京都屈指の紅葉の名称として知られる永観堂は、古今集にも掲載されており「奥山の岩垣もみじぢ散りぬべし照る日のひかり見る時なくて（通釈：山奥の岩垣紅葉は美しく色づきながら、光をあびることなく、散ってしまうだろう）」と藤原関雄が詠んでいます。

永観堂という呼び名は第7世の永観律師（1033－1111）に由来します。

律師は、自らを「念仏宗永観」と名のられ、永観律師は幼少より秀才と呼ばれ、三論宗の学匠として名声を得るまでになりましたが、地位も名声も捨てて東山禅林寺に隠遁することを選びます。18歳から日課として一万遍の念仏を称え、後には六万遍もの念仏を称えたといわれています。

薬王院という施療院を建て、窮乏の人達を救いその薬食の一助にと梅林を育てて「悲田梅」と名づけて果実を施す等、救済活動も積極的だったそうです。

新緑が大変美しく、青空と東山の稜線とのコントラストがとてもきれいでした。



鮮やかな緑に心奪われながら、諸堂へ向かいます。



控室をご用意くださっていました！ 迷わないように看板まで・・・。有難うございます！



控室には、永観堂禅林寺のご本尊である「みかえり阿弥陀如来」のレプリカがありました。



中西玄禮猯下（浄土宗西山禅林寺派総本山永観堂禅林寺法主・浄土宗西山禅林寺派管長）



中西猯下からご法話をいただきました。

永観堂の縁起とともに、ご自坊のエピソード、親鸞や著名人の言葉をご紹介いただき、仏教を身近に感じることができる時間でした。参加者は熱心に耳を傾けていました（中西猯下には本会第32期副会長のお勤めいただいております）。



中西猯下のご法話後、諸殿拝観を実施し、ご本尊の「みかえり阿弥陀如来」を濱野さんにご説明いただきました。

事前にご用意いただいた資料をもとに、ユニークも交えたご紹介は、とてもわかりやすかったです。

濱野さん、  
有難うございました！



左：諸殿からは違った陰影に富んだ新緑も楽しめる  
右：永観律師が薬食の一助に植えられた悲田の梅



左：真心・智慧・慈悲を授かるといわれる三鈷の松 右：阿弥陀堂に続く趣ある階段



訪問の最後には、中西猯下と一緒に記念撮影。

ご多忙の中、ツアーにご協力くださり、誠にありがとうございました。  
丁寧なご対応に感謝いたします！

希望者は御朱印もしっかりいただき、次の目的地、青蓮院門跡青龍殿へ移動です！



## 青蓮院門跡青龍殿



青龍殿に通ずる福德門

青龍殿とは、奈良大仏殿のおよそ横幅半分の木造大建築物で、国宝青不動をお祀りする建物です。平成26年10月、京都東山山頂の青蓮院門跡飛境内に建立された青龍殿は、国宝の青不動が安置されており、精密な複製画を通じて、お参りすることができます。建物内では、所定日に護摩を修し、諸願成就を祈願されているそうです。境内は藤の花が咲いており、新緑とともに素晴らしい景色を演出していました。





東伏見御門主からご法話を頂戴しました。

青龍殿の前で縁起などをお話いただいた後に、青龍殿の国宝青不動の前でも絵解きや大舞台の貴重なご説明を賜りました。

ご説明はとても興味深く、訪れた参加者は歴史から感じる様々な因縁にうなずいておりました。

東伏見慈晃御門主（天台宗青蓮院門跡）



左：青不動の前でご説明される東伏見御門主  
右：青不動が安置されている奥殿



京都市内を一望できる新名所「大舞台」

青龍殿には清水寺の舞台の4.6倍の広さ（延面積：1046 m<sup>2</sup>）の木造大舞台が新設されています。東山の新緑が広がり、眼下には京都市内が一望できるこの大舞台からは、とても綺麗な夜景も満喫できるそうです。

当日は黄砂のため、残念ながら遠望は霞んでいましたが、大迫力のパノラマに一同から驚きの声！

大舞台の真ん中程には、吉岡徳仁氏がデザインしたガラスの茶室がありました。透明感のあるデザインでエルメス、スワロフスキーも手がけている吉岡氏は、2007年ニューズウィーク誌で「世界が尊敬する日本人100人」の1人にも選ばれている方です。

天台宗の比叡山延暦寺や明日伺う金戒光明寺も見ることが出来る、京都を知るにはぴったりの場所でした。



大舞台で東伏見御門主と一緒に記念撮影。

ご多忙の中、ツアーにご協力くださり、誠にありがとうございました。  
丁寧なご対応に感謝いたします！

もちろんこちらでも御朱印を頂戴しました！

この後、宿泊先の和順会館に向かい、おいしい夕食をいただき、ゆっくりとお休みしました。  
夕食時には自己紹介を設け、ご一緒した方々の違った一面を楽しみながら、懇親を深めました。

明日は智積院と金戒光明寺に伺います。

5月9日 智積院



智積院金堂に向かう参加者

午前5時30分、和順会館を出発し、智積院へ向かいました。  
智積院では朝の勤行に参列後、朝食をいただき、諸殿拝観を実施します。

智積院は真言宗智山派の総本山であり、京都市東山七条にあります。真言宗智山派は関東でも親しまれており、成田山新勝寺、川崎大師平間寺、高尾山薬王院の大本山を始め、東京都の高幡山金剛寺、名古屋市の太須観音寶生院もある中、智積院は全国の檀信徒の信仰のよりどころとして今に至ります。

承和2年(835)3月21日、真言宗の宗祖である弘法大師空海が高野山でご入定し、約260年後に、「中興の祖」である興教大師覚鑿が高野山に大伝法院を建立し、荒廃した高野山の復興と真言宗教学の振興において活躍されました。その後、保延6年(1140)に、修行の場を高野山から、同じ和歌山県内の根来山へと移しました。

もともと根来山の学塔寺院だった智積院は、豊臣秀吉により伽藍が壊された歴史があります。当時玄宥僧正は高野山から難を逃れ、京都東山での再興を期し、慶長6年(1601)、徳川家康により、玄宥僧正に東山の豊国神社境内の坊舎と土地が与えられ、名実ともに智積院が再興されました

宿坊である智積院会館で過ごす方が増えており、知る人ぞ知る今人気の宿泊場所でもあります。



洒水加持をする小峰一允猯下（智積院化主・真言宗智山派管長）

6時から金堂にて回向法要があり、本会会長でもある小峰猯下のご法話もいただきながら、荘厳な雰囲気の中、参列しました。



左：金堂で合掌する参加者  
右：途中でお焼香もしました



金堂前にて小峰猯下と記念撮影

ご多忙の中、ご協力くださり、有難うございました！

記念撮影後、明王殿（護摩堂）に移動し、祈願法要に参列しました。護摩の炎・堂内に響く太鼓・僧侶が一心不乱に読経する中、御祈願いただいた紙札を頂戴しました。





朝の勤行後、智積院会館で朝食をいただきました。湯豆腐がとてもおいしく、染みわたります。

朝食後、諸殿拝観として、まずは名勝庭園へ。



「利休好みの庭」と伝えられる名勝庭園は、豊臣秀吉が建立した祥雲禅寺時代に原形が造られました。その後、智積院になってからは、第七世運徹僧正が修復し、東山随一の庭と言われるようになります。中国の廬山をかたどって土地の高低を利用して築山を造り、その前面に池を掘るとともに、山の中腹や山裾に石組みを配して変化を付けています。ツツジの花の咲く5月下旬から6月下旬にかけて一段と華やぎ、毎年多くの観光客が訪れます。CMでも度々使用されている風光明媚なお庭です。





左：軽妙な語り口でご説明くださった我妻さん

右：お茶の接待をいただきながらお庭を眺めました

そのあと、宸殿（シンデン）へ。



こちらには国宝や寺宝など、普段はお目にかかれないものをご紹介いただきました。

内部は非公開ですので、お見せすることはできませんが、参加者のみ拝見できるのも特別ツアーの醍醐味ですね！



最後に収蔵庫へ

智積院には大小の障壁画などの国宝をはじめ、多くの宝物や高僧の著作など貴重な古文書が伝えられています。中でも収蔵庫には長谷川等伯一門による「桜図」「楓図」をはじめとする桃山時代（十六世紀）の数々の障壁画が大切に収められています。

一見するとわからないことも、我妻さんにご紹介いただき、様々な編纂の後に今に至る事実には圧倒されました。

写真撮影禁止ですが、どなたでもご参拝できますので、是非ご自身の目でご覧いただければと思います！

拝観後、智積院を後にし、最後の訪問先である金戒光明寺へ。

護摩札も頂戴し、もちろん、智積院で御朱印をいただきました。

ご協力くださり、有難うございました。

## 金戒光明寺

---



金戒光明寺御影寺

いよいよツアー最後の訪問地、金戒光明寺へ。

浄土宗の大本山である金戒光明寺は、法然上人がはじめて草庵を営まれた地です。十五歳で比叡山に登られた法然上人が承安5年（1175年）四十三歳の時に、お念仏の教えを広めるために、山頂の石の上でお念仏をされた時、紫雲全山にみなぎり光明があたりを照らしたことから、この地に草庵をむすばれたそうです。これが浄土宗最初の寺院となりました。

この御影寺の内陣正面には、宗祖である法然上人の75歳の御影（座像）を奉安されています。火災による焼失後、昭和19年に再建となったもので、堂内の光線と音響に細部の注意がこらされて昭和時代の模範建築物といわれています。



高橋弘次台下（浄土宗大本山金戒光明寺法主）

御影堂では高橋台下からご法話をいただきました。金戒光明寺の由来と念仏の教えについて丁寧にお話しくださいました。車いすに乗っていらっしゃった姿を拝見し、恐縮すると同時に、ご協力くださったことに厚く御礼申し上げます。

その後、赤尾さんから諸殿説明や寺宝紹介をいただきました。赤尾さんの独特な語り口によって、わかりやすくも楽しみながらお話を伺えました。その後、大方丈と紫雲庭園へ。



左：説明される赤尾さん



右：阿弥陀如来と結縁を結ぶ参加者



#### 大方丈の外観

昭和9年に火災により焼失しましたが、昭和19年（1944年）に再建されました。久保田金僊筆「虎図」や今尾景祥筆「松図」などの障壁画で飾られています。虎の絵の秘密や法然上人の入滅の際の様子など、歴史の中で育まれた文化を感じながら、赤尾さんの紹介によって楽しんで拝見することができました。内部は撮影禁止エリアですので、こちらもツアー参加の特典ですね！



#### 大方丈で記念撮影



大方丈から見た紫雲庭

紫雲庭は、法然上人 800 年大御遠忌記念として、法然上人の生涯やゆかりの人々などを大小の庭石で表現した枯山水庭園です。白砂とスギゴケを敷き詰めた庭園は、大方丈から見て右側が美作の国での幼少時代を、左側が比叡山延暦寺での修業時代を、真ん中が浄土宗開宗・金戒光明寺の興隆を表した、一つの絵巻物のような構成となっています。



紫雲庭にあるご縁の道は、法然上人の唱えた仏教の基本的な考え方の一つである「ご縁」を表現する庭として作庭されました。2本の道がつながって1本の道となる構成は、2人それぞれの人生と出会い、そして共に生きていくという、ご縁のあり様が表現されています。



カエルも合掌です。

最後に、昼食を美味しくいただきました。  
疲れた体に優しい味付けが心地よかったです！



金戒光明寺でも御朱印をいただきました！  
ご多忙の中、諸々ご協力を頂戴し、誠に有難うございます。



最後に団長の久喜事務総長から挨拶をさせていただきます。

日程中に事故もなく過ごせたこと、参加者の皆さまと一緒に仏教文化に触れたことに対する御礼をお伝えしました。

参加者からは「非常に中身が濃いツアーだった」「この値段で大変満足のいく内容だった」「次回も是非参加したい」などの感想をいただきました。

ツアーは以上で終了です！ご協力くださった皆さん、参加者の皆さん、本当に有難うございました。

～全日本仏教会特別企画～

伝統・創造・文化 安らぎとふれあいのまち

京都東山の名刹 特別拝観ツアー

～ご挨拶～

本会の活動に対し、あたたかいご支援をいただいている賛助会員・機関誌「全仏」の購読者・本会関係者の皆様方へ、日頃の感謝を込めた特別ツアー。今回は古都京都。小峰一允会長の真言宗智山派総本山智積院、中西玄禮副会長の浄土宗西山禅林寺派総本山永観堂禅林寺、天台宗青蓮院門跡、浄土宗大本山金戒光明寺にて特別拝観やご法話等をいただき、参加者の交流を深めていただければ幸いです。



総本山智積院所蔵  
国宝障壁画「桜図」長谷川久蔵作



浄土宗西山禅林寺派総本山  
永観堂禅林寺 (イメージ)

公益財団法人 全日本仏教会

■旅行期間：平成29年5月8日(月)～9日(火)1泊2日

(食事：朝1・昼1・夕1回)

■旅行代金：大人お一人様 22,000円(2名様1室)

■利用ホテル：知恩院和順会館(バストイレ付洋室 男女別相部屋利用)

※現地集合、現地解散(現地までの旅費は各自ご負担ください。)  
※個室利用追加代金5,400円(※限定5名先着順)

■定員：30名様(最少催行人員：20名様)

※定員になり次第締め切ります。

■参加資格：本会賛助会員・機関誌「全仏」購読者および本会関係者

■申込締切日：平成29年4月21日(金)

■添乗員：添乗員は同行しません。

(利用バス会社：明星観光バス)

特別企画

- ★ 小峰一允会長(智積院化主)によるご法話と智積院特別拝観
  - ★ 中西玄禮副会長(永観堂禅林寺法主)によるご法話と永観堂特別拝観
  - ★ 東伏見慈晃青蓮院門跡門主によるご法話と將軍塚青龍殿特別拝観
  - ★ 高橋弘次台下(金戒光明寺法主)によるご法話と金戒光明寺特別拝観
- ◎予定は予告なく変更になる場合があります。

	月日(曜)	行 程	食事
1	5月8日(月)	各地より 京都駅 八条口観光バス駐車場 専用バス ◎ 浄土宗西山禅林寺派総本山 永観堂禅林寺 集合13:00/出発13:30 14:00/15:30 ◎ 天台宗 青蓮院門跡 將軍塚青龍殿 ◎ 知恩院 和順会館 16:00/17:00 17:30 18:00よりホテル内レストランにて懇親会	朝× 昼× 夕○
2	5月9日(火)	和順会館 タクシー ◎ 真言宗智山派 総本山智積院(智積院会館で朝食) タクシー 05:30 05:45/06:00より朝勤行 ◎ 浄土宗 大本山 金戒光明寺(昼食) 昼食後解散 10:30/12:30	朝○ 昼○ 夕×

※ 交通・天候等の理由によりコースの一部を変更することがあります。 凡例 ◎入場拝観